

宇宙赤外線背景放射プロジェクト



観測ロケットや探査機による宇宙赤外線背景放射(CIB)の観測研究

共同研究機関： 関西学院大, 東京都市大, 九州工業大, ISAS, RIT, Caltech, KASI, ASIAA 他

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/~matsuura/research/>

CIBER-2 (NASA観測ロケット)

- ◇ 可視近赤外 ($0.5\text{-}2\ \mu\text{m}$) におけるCIBの起源をゆらぎとスペクトルから解明
- ロケットI/F試験に合格し打上げ可能な状態となり, 観測装置や機材をロケット射場 (WSMR)へ移送
- 2020年3月 打上げ予定であったが, COVID-19流行の状況判断により4度の延期
- キャリブレーション機材を日本に返送し系統誤差評価を実施 (本年会講演 V222b 橋本ほか)
- 現在 2021年6月6日 打上げ予定

EXZIT / 惑星間宇宙望遠鏡 (IPST)

- ◇ ソーラー電力セイル木星トロヤ群探査計画(OKEANOS)に可視・近赤外分光計EXZITを搭載, 黄道光の影響なくCIBを観測
- OKEANOSはISAS戦略的中型計画候補として検討を継続中, EXZITの開発も継続
- 2020年度 EXZIT BBM光学系の性能試験 (本年会講演 V220a 佐野ほか)
- 2021年度 EXZIT BBMミラー改修と性能試験の継続, 熱構造設計と構体の試作
- ◇ 惑星間宇宙望遠鏡 IPST (InterPlanetary Space Telescope) への開発移行
- IPST計画を2030年代 将来計画 GOPIRA WP に提案
- はやぶさ2, DESTINY+, MMX等による黄道光・可視背景放射の深宇宙観測
- 超小型・小型の深宇宙探査機の検討

